

おいしい東葛ほっと通信

鎌ヶ谷市のなし「あきづき」

今年もおいしいですよ

第18号 平成20年 9月

東葛地域は「なし」の大産地

「なし」は、東葛地域を代表する農産物です。「なし」は当地域のみならず千葉県を代表する農産物として全国的に有名です。

千葉県の結果樹面積（収穫できるなしの樹が植えられている面積で、全栽培面積からまだ収穫できない若木などを除いた面積）は1,620ha、出荷量は34,700kgとなっており、堂々の日本一です（平成18年産）。その内の約半分がこの東葛地域（同年産の東葛地域の結果樹面積824ha、出荷量17,300kg）で作られています！！地域内の主な産地は市川市、鎌ヶ谷市、船橋市、松戸市、柏市となっています。

栽培されている「なし」の種類

現在栽培されている主要品種は、収穫時期が8月上～中旬の「幸水」、9月上～中旬の「豊水」、10月上～中旬の「新高」で、「幸水」の人气が高く最も多く栽培されています。さらに、最近では上記の3品種が育種親となっている「あきづき」が注目されています。特に市川市、鎌ヶ谷市を中心に導入が進んでいます。

この「あきづき」は、果実重は約500gで、大果（平均直径は11cmくらい）となり、果実の形も名前の通り、秋の満月のように「まん丸」で見栄えも良く、「豊水」と「新高」の間（9月中旬～10月上旬）に収穫できます。食味は酸味がなく、肉質がなめらかで良好です。これまでの「幸水」、「豊水」とは異なった上品なあじわいが「あきづき」の自慢です。



収穫間近の「あきづき」の果実

（収穫期は9月中下旬）

大果で形も名前の由来の通りまん丸で満月のような形の果実。幸水並みに高い糖度、果汁がたっぷりみずみずしく、なめらかな肉質が特徴。

お待たせしました、今年も鎌ヶ谷市での試食即売会やります！

鎌ヶ谷市では、高品質でおいしい「あきづき」を生産し、ブランド化を目指しています。徐々に栽培面積が拡大し、昨年は各直売所でも出回り始めました。

まだ新しい品種であるため消費者の皆様を知っていただくこと、鎌ヶ谷市梨業組合では「あきづき」の試食・即売会を開いています。毎回好評をいただいておりますが、今年も、イオン鎌ヶ谷ショッピングセンターで**9月20日(土)**に開催される予定です(今後の生育状況により開催日は変更されることがあります)。当日は地元のなし農家のみなさんが、「あきづき」の特長を説明しながら試食を勧めます。皆様のお越しをお待ちしておりますので、ぜひ足をお運びください。



あきづきの花（4月上旬）
白い花びらに真ん中の粒の中に花粉が入っています。



昨年の試食、即売会の様子

一昨年、昨年は、イオン鎌ヶ谷ショッピングセンターで1日だけの限定販売を行いました。好評を博し昨年は午前中で売り切れとなりました。今年は数量を倍増させ、皆様のお越しをお待ちしております。今年の開催日は9月20日(土)の予定です。

「幸水並みに高い糖度」、「果汁たっぷり」、「なめらかな肉質」と3拍子そろった上品なあじわいの鎌ヶ谷市のなし『あきづき』を是非ご賞味下さい。